

学校の教育目標 <small>(育成を目指す資質・能力)</small> ◎考える子ども ・やり抜く子ども ・協力する子ども ・思いやりのある子ども	その他 特記事項
目指す学校像 (ビジョン・ミッション) 個性輝き、笑顔つながる 楽しい久米川東小学校 久米東PB 誇りと信頼 久米東らしさ 本年度のテーマ: Succession & Evolution (継承と進化)	

【目指す学校像】 ① 自分の良さに気づき伸ばすとともに、友達の良さを認め合える学校 ② 分かった、出来た笑顔があふれる学校 ③ 人と人、心と心がつながる笑顔があふれる学校 ④ 学ぶのが楽しい 学校生活が楽しい 行くのが楽しい学校	【目指す教師像】 ① 児童の良さを認め、伸ばすことができる教師 ② UD化、タブレットの効果的活用などを通して、分かる授業を実現する教師 ③ 人とのかわりを大切にした学級経営を行う教師 ④ 楽しいと思える授業、学校づくりができる教師	【目指す児童・生徒像】 ① 自分の良さを認識し、自分が大切な存在でアルト実感すると共に、相手も大切に思うことのできる児童 ② 自らの考えをもち、友達との対話を通して考えを深めることのできる児童 ③ 地域行事に進んで参加し、地域の良さを実感するとともに、地域を誇りに思う、地域の誇りと思ってもらえる児童 ④ 様々な人や事物と進んでかわり、楽しい学校を創っていかうとする児童
---	---	--

領域	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	取組指標 (教職員の取組)	取組自己評価				成果指標 (児童・生徒等の資質・成果)	成果自己評価				成果指標 (保護者の理解・成果)	成果自己評価				中間申告 (分析・修正案)	最終申告 (分析・改善策)		
					6月	11月	2月	評語		6月	11月	2月	評語		6月	11月	2月	評語				
学習指導	・児童に身に付けさせたい力を明らかにし、全教員で指導の工夫・改善をすすめる。 ・学習の基礎基本の確実な定着を図る。 ・健康な体を作るため、進んで運動に取り組みようとする児童を育成する。	・各時間のねらいを明確に示す、振り返りを行う等、授業のUD化を進め、児童の主体的な学習を促す。 ・タブレット端末を効果的に活用し、個に応じた分かりやすい授業づくりを行う。 ・体育授業や、体育的運動習慣を身に付けさせる。	・毎時間の学習目標を児童に明確につかませるための導入の工夫を行い、学習のふりかえり、まとめを確実にし、児童の学習意欲、定着を進める。 ・全教科、全単元においてタブレット端末を効果的に活用し、探究的な学習及び協働的な学習を行うことと主体的に学習に取り組ませる。 ・運動能力調査結果やタブレット端末の効果的活用を通して、児童一人一人が課題意識をもって、体力向上をはかるようにする。	・1単位の学習において、めつた提示、学習の見直し、振り返りを確実にし、児童の学習意欲、定着を進める。 ・タブレット端末活用推進のための教科別活用計画書を作成し、効果的な活用を進める。 ・学級の傾向をもとにした運動の重点化を図る。 ・体育的行事や集会活動などを活用し、児童の体力向上を図る。	目標 95% 100% 100% 達成 95% 95%	A	・児童アンケート、「学習の終わりに、振り返りを行っている」の項目で、肯定的評価を90%以上とする。	目標 70% 80% 90% 達成 89% 90%	A	・保護者アンケート、「学習の終わりに1時間の振り返りを行っている」の項目で、肯定的評価を80%以上にする。	目標 60% 70% 80% 達成 36% 35%	C	・児童、教員ともに、実施できているとの評価であるが、その様子が保護者に十分伝わっていない。学級通信、学年だより、学校だよりや学校ホームページで学校の取組を発信していく。									
					目標 0% 100% 100% 達成 89% 86%			O			・児童アンケート、「各教科で、タブレットを効果的に活用している」の項目で、肯定的評価を90%以上とする。			目標 80% 80% 90% 達成 95% 94%	O	・保護者アンケート、「児童はタブレットを積極的に活用している」の項目で、肯定的評価を80%以上にする。	目標 60% 70% 80% 達成 80% 75%	A	・タブレットの活用が進んでいる。教員間や教科間の差を少なくしていくために、引き続き定期的に研修を行っていく。			
					目標 50% 60% 80% 達成 95% 91%									O			・児童アンケート、「目標をもって体育の学習に取り組んだり、休み時間に進んで体を動かしたりしている」の項目で、肯定的評価を70%以上とする。			目標 60% 60% 70% 達成 82% 86%	O	・保護者アンケート、「学校は体育授業の充実や体育的活動の充実を通して、児童の体力向上を図っている」の項目で、肯定的評価を80%以上にする。
・自己有用感を高める活動を充実し、一人一人の児童が、自分のよさを実感できることで、楽しい学校を創造する。	・自分には良さや得意なことがあることを実感させる働きかけを行う。 ・児童の問題について早期に対応するため、報告連絡を行う。特別な支援が必要な児童に関する対応や相談を充実する。	・道徳授業を要し、全教育活動を通して道徳教育の充実を図り、児童が、自分の良さを実感できる教育活動を日常的に推進する。 ・いじめ防止授業、居場所づくりに資する取組を実施する。 ・学校いじめ防止対策委員会、学校不登校対策委員会を毎月学期開催し組織的な対応を図る。	・学習や生活場面で児童の良さを認めたり、帰りの会で相互に認め合う場面を設定したりして、児童の自己有用感を高める。 ・いじめ、不登校の未然防止及び早期発見のため、組織的な対応を図る。 ・自己申告及び教職員調査で対応状況を把握し、組織改善を図る。	目標 90% 95% 100% 達成 100% 100%	A	・年3回実施するアンケート調査で、「自分にはよいところがある」の項目で、肯定的評価を99%以上にする。	目標 90% 95% 99% 達成 90% 94%		A	・保護者アンケート、「学校は児童の良さを認めている」の項目で、肯定的評価を80%以上にする。		目標 60% 70% 80% 達成 96% 97%	O							・自尊感情につながる自分の好きなこと、得意な事や関心のあること、得意な回答となっている。児童に対して、好きなことや得意なことが自分のよさにつながることを伝えていく。		
				・保護者・地域との連携を図り、信頼される学校を築く。 ・学校と地域の協働活動を推進し、学校を核とした地域づくりに貢献する。			・学校・学年・学級の経営方針や教育活動を保護者・地域に伝え、連携協力を行う。 ・地域や関係機関との連携を図り、人的資源の確保を目指す。	・各種たよりやホームページを通して、学校の方針や活動を保護者、地域に発信する。 ・来校いただく機会を増やし、教育活動を実際に参観いただく。 ・学校運営協議会制度を活用し、学校と地域の協働活動を推進する。各学年と地域コーディネーターの連携を深め、全学年で地域人材を活用した教育活動を実施する。			・連絡アプリを活用し、学校を開く場を積極的に発信し、実際の教育活動を参観、参加いただく。 ・地域人材を活用した取組を進め、教育内容の充実を図る。 ・自己申告及び教職員調査で対応状況を把握し、組織改善を図る。	目標 100% 100% 100% 達成 100% 100%			A	・児童アンケート「地域行事に参加している」の項目で、肯定的評価を70%以上にする。		目標 90% 95% 95% 達成 95% 98%	O			
												・学級活動、児童会活動、学校行事等を通して児童の個性を伸ばし、自主性や実践力を育成する。 ・持続可能な社会の一員としての意識を高める。		・地域の特性や児童の発達段階に即した指導計画の改善を図る。 ・持続可能な社会づくりに向けた教育を推進するため、特色ある教育活動を行う。			・日常授業や学級会、委員会活動などを通して、児童が意見表明する場の充実を図る。 ・地域団体と連携し、児童が社会参画する場を紹介、推奨する。 ・東村山市SDGsパートナー制度と運動した特色ある教育活動「KUMEHIGA 7 Colors」を全教員で分担し、組織的に推進する。	・子ども基本法施行を受け、児童が意見を表明する場の充実を意識するとともに、地域行事の参加を通して社会参画する経験をもたせる。 ・「KUMEHIGA 7 Colors」を全教員で分担し、組織的に推進する。			目標 70% 90% 100% 達成 81% 100%	A
・学級活動、児童会活動、学校行事等を通して児童の個性を伸ばし、自主性や実践力を育成する。 ・持続可能な社会の一員としての意識を高める。	・地域の特性や児童の発達段階に即した指導計画の改善を図る。 ・持続可能な社会づくりに向けた教育を推進するため、特色ある教育活動を行う。	・日常授業や学級会、委員会活動などを通して、児童が意見表明する場の充実を図る。 ・地域団体と連携し、児童が社会参画する場を紹介、推奨する。 ・東村山市SDGsパートナー制度と運動した特色ある教育活動「KUMEHIGA 7 Colors」を全教員で分担し、組織的に推進する。	・子ども基本法施行を受け、児童が意見を表明する場の充実を意識するとともに、地域行事の参加を通して社会参画する経験をもたせる。 ・「KUMEHIGA 7 Colors」を全教員で分担し、組織的に推進する。		目標 80% 90% 100% 達成 72% 82%	A			・児童アンケート、「持続可能な社会づくりに向けて取り組んでいる」の項目で、肯定的評価80%以上とする。	目標 60% 70% 80% 達成 82% 81%			O							・保護者アンケート「学校は持続可能な社会づくりに向けた教育活動に取り組んでいる」の項目で、肯定的評価を80%以上とする。	目標 60% 70% 80% 達成 92% 93%	
				・学級活動、児童会活動、学校行事等を通して児童の個性を伸ばし、自主性や実践力を育成する。 ・持続可能な社会の一員としての意識を高める。	・地域の特性や児童の発達段階に即した指導計画の改善を図る。 ・持続可能な社会づくりに向けた教育を推進するため、特色ある教育活動を行う。		・日常授業や学級会、委員会活動などを通して、児童が意見表明する場の充実を図る。 ・地域団体と連携し、児童が社会参画する場を紹介、推奨する。 ・東村山市SDGsパートナー制度と運動した特色ある教育活動「KUMEHIGA 7 Colors」を全教員で分担し、組織的に推進する。	・子ども基本法施行を受け、児童が意見を表明する場の充実を意識するとともに、地域行事の参加を通して社会参画する経験をもたせる。 ・「KUMEHIGA 7 Colors」を全教員で分担し、組織的に推進する。		目標 70% 90% 100% 達成 81% 100%	A				・児童アンケート、「学習や学級会で自分の考えを伝えている」の項目で、肯定的評価を80%以上とする。	目標 60% 70% 80% 達成 78% 91%			O		・保護者アンケート「学校は児童が自分の考えをもち、それを進言できるような配慮している」の項目で、肯定的評価を80%以上とする。	
										・学級活動、児童会活動、学校行事等を通して児童の個性を伸ばし、自主性や実践力を育成する。 ・持続可能な社会の一員としての意識を高める。		・地域の特性や児童の発達段階に即した指導計画の改善を図る。 ・持続可能な社会づくりに向けた教育を推進するため、特色ある教育活動を行う。		・日常授業や学級会、委員会活動などを通して、児童が意見表明する場の充実を図る。 ・地域団体と連携し、児童が社会参画する場を紹介、推奨する。 ・東村山市SDGsパートナー制度と運動した特色ある教育活動「KUMEHIGA 7 Colors」を全教員で分担し、組織的に推進する。		・子ども基本法施行を受け、児童が意見を表明する場の充実を意識するとともに、地域行事の参加を通して社会参画する経験をもたせる。 ・「KUMEHIGA 7 Colors」を全教員で分担し、組織的に推進する。	目標 70% 90% 100% 達成 81% 100%	A				・児童アンケート、「学習や学級会で自分の考えを伝えている」の項目で、肯定的評価を80%以上とする。

自己評価の評語 目標の5割未満はC、5割～8割はB、8割～10割A、目標超えはO(over)